

国際ロータリー第2560地区
スローガン

ロータリーはステージ・
みんなが輝く！

高田ロータリークラブ
会長方針

ロータリーに共に参加し、
共に学び、共に楽しもう



2024-2025年度

国際ロータリー会長

ステファニーA.アーチック

第2560地区ガバナー

南雲博文

高田ロータリークラブ会長

飯塚宏佳

幹事

細野仁

広報・会報・雑誌委員会：

箕輪賢一 倉田 亮 阿曾 晋

第 37 回例会 6 月 20 日(金)

No.37

会長挨拶

●飯塚 宏佳



こんにちは。今年度最後の通常例会日となります。いよいよ次年度へバトンを渡す時が近づいてまいりました。ただ今日のクラブ協議会は早く終わりそうで、予定も特になという事なので、沢山しゃべらなければいけないらしいんです。という事でだらだらと話を致しますがご容赦ください。

今週の月曜日に清水に前乗りし翌日の例会に備えたわけですが、前回の米沢上杉 RC への訪問の時と違いまして既に先方さんが待ち構えていらっしゃいました、今回私と細野幹事、石倉実行委員長と三人で伺ったのですが、あちらは11名プラス芸者さん(三味線1名、踊り1名のおきれいな方々)という力のこもった歓待を受けました。何でこの話をするのかと言うと、歓待を受けて良いだろうじゃあないんです。多分7年後だと思いますが今度は清水 RC80 周年の案内で向こうから来られます。その時にそれに見合った歓待をしなきゃいけないという話なんです。今年の当クラブ70周年にも来られますが、その時は前回我々が周年事業にお邪魔したときに受けた歓待を返さなければならぬ形となります。これから70周年に向けて各委員会が動き出すことになり

ますが、友好クラブの接待を担当する委員会の皆さんは米沢上杉 RC 様、清水 RC 様への対応どうぞよろしくお願い致します。

因みに清水 RC の例会も12時から食事、12時半から例会でした。なので結構時間もありまして、清水 RC の笠原会長とゆっくりお話をする時間がありました。清水は2003年に静岡市と合併し現在静岡市清水区となっているのですが、現在多くの施設が静岡側に集中してしまい、結婚式場などロータリークラブの会場となるような場所がどんどん廃止や撤退となっていて、例会場の維持に大変困っているとのことでした。現在のホテルクエスト清水が清水区内で唯一例会開催可能な場所だそうですが、それでも若干狭く会員増強したいけれども増やしたら例会場に入らなくなると悩んでおられました。高田クラブの例会場の大きさが羨ましいとも仰っていました。

さて笠原会長から「前回の清水 RC の70周年には高田クラブから19名参加いただいたので、我々も20名ほどで参加しようと思っています」とお申し出頂きました。11月8日の70周年式典そしてその後もしっかり歓待したいと思いますので、皆様ご協力お願いいたします。

普通ならここで終わるところですが、時間が余りそうなので古代史の話第3回目に行きたいと思います。前回地球が大変寒い3~4万年前に大陸と地続き若しくは浅瀬でつながった状態だった日本に人類が到達定着を始めた所までお話ししました。その後地球は暖かくなります。今から約1万年~1万五千年前辺りからを、日本では縄文時代と呼んでいます。この時代は大変長く1万年ほど続いたとされています。その始まりの頃、縄文早期にはだいたい満遍なく全土に人類は散らばって定住を始めたようですが、鬼海カルデラと言われる硫黄島の辺りの海底火山の大噴火により九州一帯や西日本は一度全滅か人が住めなくなり東日本への移動を余儀なくされたと考えられています。当時は食物の栽培と言ってもせいぜいクルミやナラ、ドングリなどを育てる程度のものでしたので、作物が育たない土地には定住できないという事です。東北や関東に人口が集中していきます。そして温暖な気候を背景に食に困らない、争う必要のない時代が長く続きました。今からだいたい5千年前後くらい前、縄文中期には大きな集落が形成されてきます。それも各集落単独で生活していた訳ではなく、周囲と交易をしていたようです。それが判るのは全国に黒曜石とヒスイが広まっているからです。これらは産地が限られ、ヒスイに至っては糸魚川が現在分かっている唯一の産地と言われています。それが北陸から関東、北海道の南端でも当時のものが見つかっています。

一部稲作も伝わってきたと言われていますが、それが広まるのはもっと後の時代で、人々は狩猟と木の実(栗やクルミ)の採取し粉にして餅状にしたり、ヒエ、ゴボウ、ヤマイモなどを栽培したと思われます。長岡を始

め新潟県に特に多く出土している火炎式土器ですが、これも時間的・生活的に余裕があったからあのような過剰な装飾があたえられたのではと考える学者もいます。長く続いた比較的平和な時代でしたが気候のサイクルがやってきます。縄文晩期になると次第に寒冷化が進み一時 26 万人いたとされる日本の人口も 8 万人まで減少したようです。そしていよいよ弥生時代という所でこの話を終えたいと思います。

来週は最終例会で夜開催ですので、会長挨拶はほぼ今回で終わりとなります。皆様お聞き苦しいところもあったと思いますが、お付き合いいただきありがとうございました。



出席報告

出席率 100%

ニコニコ BOX 紹介

石倉 70 周年実行委員長・飯塚会長・細野幹事：5/20 に米沢上杉 RC、6/17 に清水 RC を訪問しました。70 周年へのお誘いに 3 名で参りました。労クラブとも快く参加してくれるとのこと。11/8 を楽しみにしています。

会員インフォメーション

小池猛紀君：10/4 上越タイムス親善ゴルフ大会のお知らせ

幹事報告

配布物：週報No.36

回覧物：10/4 上越タイムス親善ゴルフ大会チラシ

クラブ協議会 2025-26 年度委員会活動報告

◆ロータリー財団委員会 橋詰委員長



・事業計画の難題であった初企画の財団地区補助金を使った 4 クラブ（高田・新井妙高・高田東・越後春日山）共同企画「利他一善」プロジェクトは、試行錯誤しながらも最終的には小学校・保育園（認定こども園）を対象とし、1300 余名の参加を得る事ができ、新聞広報により地域へロータリー活動を紹介でき一定の成果を得たものと考えます。

- ・ロータリー月間の 11 月の財団月間に外部卓話者を考えておりましたが、実施できておりません。
- ・財団への寄附理解活動も中途半端でありました。ロータリーメンバーの目標額は達成できておりますが、衛星クラブメンバーへの働き掛けに欠けておりました。次年度に期待致します。

◆SAA 高橋正彦君



例会が秩序正しく、楽しく交流、親睦を深める環境創りを目指して活動を行ってきました。副 S.A.A.、親睦委員会さまの協力をいただきスムーズに例会運営ができましたが、残念ながら実出席数と事前申告数の一致した例会がありませんでした。次年度には、フードロスの解消に努めて頂きたいと思います。

◆会員増強委員会 高橋委員長



7 月 1 日会員数 68 名（高田 RC57 名・名誉会員 1 名・衛星クラブ 10 名）現在の会員数は 68 名（高田 RC56 名・名誉会員 1 名・衛星クラブ 11 名）、全体的には、会員数の増減はありませんでしたが、高田 RC では 1 名減となつてしまい、会員増強となりませんでした。入会候補者を例会にお招きし、入会を促すことができず、反省しております。

◆会員選考委員会 大谷委員長（代読）

今年度の入会者高田ロータリークラブ 6 名、衛星クラブ 1 名の計 7 名でした。内 5 名は転勤に伴うもので引き続き後任者から入会を頂きました。他 2 名は新規入会者で慎重に審理し入会を認めました。

◆広報・会報・雑誌委員会 箕輪委員長



・会報の見やすさを考えるにあたって、写真の撮り方を工夫しましたがいかがだったでしょうか？

スチール写真の特徴は、縦と横が撮れる点にあります。映像には無い一瞬をとらえ、会員皆さんの表情をお伝え出来たのではないかと思います。

・地域への広報に関しては不足していたので他の委員会メンバーと連携しながらクラブの良さを伝える体制づくりが課題と思われます。

◆国際奉仕委員会 宮下委員長



・2024 年 9 月 7 日（土）に長岡グランドホテルにて開催された「第 2560 地区」の「国際奉仕フォーラム」に出席しました。

・長岡東ロータリークラブの「モンゴル理科実験室」におけるグローバル補助金の活用事例を勉強しました。ロータリーの原点である親睦と職業奉仕であることを再認識しました。

主だった活動はできませんでしたが、ロータリーのホームページ MyRotary の WEB 上で、学習 e-ラーニングができることを知り、国際奉仕を中心に学びました。

◆米山奨学委員会 中田委員長



◇本年度の卓話実施回数は前期

1. 米山奨学寄付額高田 RC 会員のみ 21,666 円/人（衛星クラブ会員含む 18,432 円/人）
2. 本年度は、上越教育大学に在籍した米山奨学生の李博さんの世話クラブとして米山奨学生とクラブ会員の交流を積極的に行い、毎月例会に 1 回は出席していただきました。

11 月 29 日には李博さんに卓話をしていただき、自己紹介、出身地、大学院での活動、教育実習での内容紹介、上越国際交流協会での課外活動などについて紹介をしていただきました。

3. 地区行事の米山記念奨学生親睦交流会が佐渡で 8 月 25～26 日の一泊二日の日程で行われ、奨学生 21 名の 1 名として参加いただきました。

4. 2 月 22～23 日には妙高杉ノ原スキー場で開催された国際交流スキーイベントに参加し、青少年交換留学生・米山記念奨学生と親睦を深め、またスキーを楽しんでいただきました。